

広島市スポーツ推進委員 実務研修会

令和5年2月5日(日)
西区スポーツセンター



講師
NPO法人
ひろしまレクリエーション協会
砂橋先生

※3つのポイントを中心に、レクリエーション
支援技術を体験学習しました。

- (1)心の壁を取り除く(アイスブレイク)
- (2)信頼関係を築く(ホスピタリティ)
- (3)人と人とのコミュニケーションの深まり

「地域におけるスポーツ・レクリエーション活動(レク活動)の振興のための実技およびコーディネート能力を身に付ける」という目的でレクリエーション・サポーター研修を受けました。

地域の皆さんに「行事に参加して楽しかった!!」と感じてもらうための技術や仕組みのポイントを教えていただきました。

研修中のレク活動はとても楽しく、実技を交えながらの解説は大変分かりやすかったです。

今後、各学区での開催行事だけでなく、普段の生活のコミュニケーション促進にも役立つ研修内容でした。



(難易度低) アイスブレイキング
「グーパー」動作と同時に「ヨイショ」発声



(難易度高) スティックを使用したレク活動

普及委員会「軽スポーツ部会」

令和5年2月12日(日)
西区スポーツセンター

3年ぶりに開催された軽スポーツ部会。各学区より約100人の参加がありました。「スポーツで地域に笑顔を」をモットーに、ウィズコロナの状況下でも開催可能な軽スポーツを地域の皆さんへ普及振興することを目的としています。

今年の種目はインドアモルック。フィンランド発祥の投てき競技です。棒(モルック)を投げて点数が書かれたピン(スキttl)を倒し、50点ちょうどを目指します。1点でもオーバーしたら、25点まで戻されます。

スポーツ推進委員による競技説明の後、各学区対抗の大会形式で優勝を目指します。狙い通りに投げる技術が求められますが、自チームの得点、相手チームの得点、スキttlの位置などを考えながら、作戦を立てることが重要です。

狙ったスキttlを仕留めて50点に到達した時は最高に盛り上がり、あちこちのコートから、大きな歓声が上がりました。

優勝は己斐学区でしたが、皆さんそれぞれ楽しんでおられました。



スポーツ推進委員による競技説明
幸田推進委員、瀧谷推進委員



気合を入れて
よいしょ～!



モルックアウト：ソ～レッ
同点の時に決着をつけます



参加された皆さん



◆編集後記◆

新型コロナ第7・8波が押し寄せ、行事が延期になり掲載記事が減少する中、早めに誌面計画を立て、計画的に編集を進め、最終取材から4日で初稿という荒業とともに、63号は産声を上げました。厳選された写真と正確で思いのつまった記事で、スポーツ推進委員の活動を届けます。

広報部一同

西友 にしゅう

— 第63号 —
令和5年3月31日発行
発行責任者
西区スポーツ推進委員協議会
会長 黒永勝彦
編集 広報部



第28回 広島市スポーツ・レクリエーションフェスティバル

令和4年10月9日(日) 広島広域公園ほか12会場



平野推進委員、金山推進委員ガンバル!!

3年ぶりに「コロナ禍」「小雨日和」のなか、レクリエーション運動会の競技を縮小して開催されました。スポーツ推進委員は、全体で264人、西区は31人が運営にあたりました。

本年度、西区は総合開会式司会を任せられ、草津学区の平野推進委員と金山推進委員が大役を務めました。

競技は、スポーツ交換競技大会とレクリエーション運動会がありこれは8区対抗戦です。他にニュースポーツ・レクリエーション体験会、ふれあい広場、スポーツ交流会等たくさんのスポーツが体験できるようになっており、スポーツ推進委員が運営をしています。

コンディションの悪い中、総参加者数26,872人と多くの方がスポーツを楽しめました。



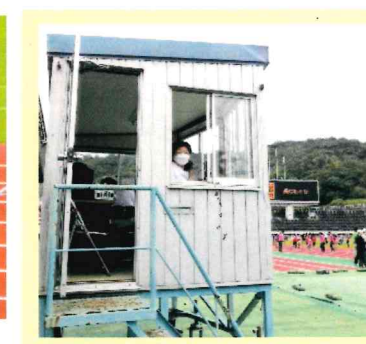
西区の皆さん



レクリエーション運営



長なわとびで健闘する子どもたち



(アナウンス担当：荒巻推進委員)
私は26回大会より庶務課・進行班として、グラウンド内にある移動式放送設備で、アナウンスの担当をしています。初めて入ったときは「こんな場所でアナウンスが行なわれているのか」とビックリしました。皆さんはご存じでしたか。

西区の主な成績
(8区対抗戦)



【スポーツ交歓競技】

優勝：卓球(己斐上学区)、ペタンク(三篠学区)
3位：バドミントン(南観音学区)

【レクリエーション運動会】

優勝：女子リレー(井口台学区)
3位：女子リレー(己斐学区)

※結果西区は、総合3位でした。(前回までに3回の総合優勝があります。)

